

# 銀山の残した町並みを歩く

銀山の町並みは大きく分けて、大森ゾーンと銀山ゾーンに分かれます。大森ゾーンは代官所前から羅漢寺までの町並みをさし、銀山ゾーンは蔵泉寺から龍源寺間歩までの区域をさします。

## 政治・経済の町 大森ゾーン

大森ゾーンの町並みは江戸時代、二代目奉行竹村丹後守が代官所を現位置に移転してから形成されてきます。代官所の周りに役所や郷宿（公用で代官所に来た人が泊る宿）がおかれ、さらに武家の屋敷や商家が混在して町並みを形成してきました。

## 銀山の町 銀山ゾーン

銀山ゾーンは戦国時代、仙の山を中心に集落が形成され、鉱山開発とともに銀山川付近まで広がっていきました。江戸時代になると山内（銀採掘に関わる人ひとの集落）となり、柵で囲まれ、出入り口には番所がおかれました。今では家並みはまばらになりましたが、寺社や谷筋に残っている石垣から往時のにぎわいが想像できます。



勝源寺



地役人・河島家  
町並みのなかで、唯一公開されている武家屋敷。家の造りや部屋の様子をくわしく見ることができる。



15 佐毘売山神社（国指定史跡）  
鉱山の守護神・金山彦命を祀る。旧暦の正月十一日には、銀山役人や山師などが参加し、銀山の大成を祈願した。



13 清水寺



12 山吹城跡（国指定史跡）  
仙の山の向かいにある中世の山城。戦国時代には尼子・毛利氏らによる銀山争奪戦の舞台となった。現在は山頂の本丸まで遊歩道が整備されている。



14 清水谷製錬所跡  
明治年間に操業していた銀の製錬所跡。今は工場の跡地が9段の石垣として残されている。



11 大久保石見守の墓（国指定史跡）  
坑道掘りを導入し銀山開発に大きな功績を残した大久保長安の墓とされている碑が建っている。現在は廃寺の森の片隅に、五輪塔が静かにたたずんでいる。



10 伝山吹城城門（西本寺）



15 16 17 は航空写真の左側に位置している。



16 福神山間歩（国指定史跡）



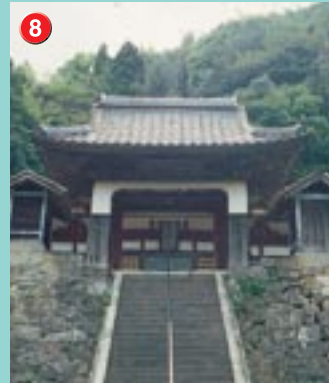
17 龍源寺間歩（国指定史跡）

大森ゾーン散策ひとくちアドバイス  
大森ゾーンでは町並みに注目してください。自分の足で歩いて江戸時代の雰囲気を感じてみてください。細い路地を歩いてみたり、川辺にのりてみたりすると新たな発見があるかもしれません。歩くときかなりの時間がかかりますが、疲れたら旧河島家、大田市町並み交流センターなどでひと息いれるのもよいでしょう。興味のある人は石見銀山資料館で事前に知識を仕入れておくことをおすすめします。

銀山ゾーン散策ひとくちアドバイス  
銀山ゾーンでは広い範囲に銀の採掘に関わる遺跡があります。そのため車、自転車を利用したほうがよいでしょう。中にはいることができる龍源寺間歩（駐車場あり）をはじめ、たくさん間歩があります。間歩の周りの小さな谷筋では、掘った後の捨て石や人間が住んでいた跡（石垣など）を見つかることができます。さらに谷を探索すると五輪塔などの古い墓が見つかることもあります。また、山吹城跡に登って、戦国大名の攻防に思いをはせてみましょう。



6 大田市町並み交流センター（旧大森裁判所）  
銀山の歴史と暮らしをわかりやすく紹介したビデオコーナーがある。また、一角には旧大森裁判所の法廷の様子を一部復元している。



8 栄泉寺



4 町年寄・熊谷家（県指定史跡）  
当時の豪商だった熊谷家の遺宅。広い屋敷地に4つの蔵を備えた家が建っている。代官所のご用達で町年寄なども動めた。（非公開）



2 大森代官所跡（国指定史跡）  
現在は石見銀山資料館となっており、銀山に関するいろいろな展示がしてある。入口の門長屋は江戸時代のもので、門番詰め所や仮牢が現存している。



9 羅漢寺  
「五百羅漢」の名で知られる「石造五百羅漢坐像群（県指定）」のある寺で、向かいの反り橋を渡ると、この石像を見ることができる。石像には「福光石」という石を使い、仏像は彩色も施されている。



5 郷宿田儀屋遺宅・青山家（県指定史跡）  
郷宿とは、公用で代官所に出勤した者が宿泊する宿のこと。町並みの中では珍しく、妻入りの様式をしている。（非公開）



1 城上神社（県指定建造物）  
15世紀なかばに、大内氏が先祖の霊を仁摩町馬路からこの神社に分霊した。拝殿の格子天井には、極彩色の鳴き電が描かれている。